

子供たちに野球の楽しさを伝えたい

真砂中などで軟式野球クラブを開設 **水口栄二さんインタビュー**

西宮市の市立中学校部活動の地域展開が9月から始まり、部活動の受け皿となる地域クラブ「プレミヤクラブ」が市内各地で始動します。元プロ野球選手の水口栄二さんは阪神タイガースの支援を受けて真砂中学校など3中学校を活動場所とする軟式野球の地域クラブを開設します。水口さんは私とのインタビューに「子供たちに野球の楽しさを伝えたい」と話しました。Ⅱ2面に関連記事



西宮市議会議員

かんの雅一

水口さんが開設する地域クラブは真砂中を活動場所にする「真砂軟式野球クラブ」と大社中学校を活動場所にする「大社軟式野球クラブ」、瓦木中学校を活動場所にする「瓦木軟式野球クラブ」の3クラブ。
水口さんは自身が代表を務める野球教室「野球心」を通じて3クラブを運営します。3クラブのそれぞれの監督には、水口さんが野球指導の経験者から人選。練習メニューの作成や日常的な指導は監督らに任せ、水口さんは適宜、子供に合った個別指導をずっとしています。
練習は週4回で、平日は1日2時間、土日祝日は1日3時間。阪神タイガースからも指導者を派遣してもらい、経済的な支援を受けるとしています。
水口さんは「子供たちの個性や野球に対する考え方などはさまざまなので、それぞれの子供に合ったアドバイスをし、チーム全体のレベルアップを図りたい。中学の3年間で野球の基本と基礎的な身体づくりを行い、高校では、その延長線で成長できるようにしてあげたい」と話しました。
水口さんは野球人口の減少に危機感をもっています。市に対しては「小



かんのインタビューに答える水口栄二さんⅡ西宮市議会応接室

9月から中学校部活動の地域展開

水口栄二（みづぐち・えいじ）氏の略歴昭和44年、愛媛県生まれ。61年の全国高校野球選手権大会で松山商業高校の主将として出場し、準優勝。大会安打最多記録の19安打を記録。早稲田大学を経て、平成2年のドラフト2位で近鉄バファローズに入団。主に二塁手として活躍し、粘り強いバッティングが持ち味。19年にオリックスバファローズで引退。その後、オリックスのコーチとして坂口智隆選手やT・岡田選手らを育て、阪神タイガースのコーチとして日本シリーズの制覇に貢献。

学生の中からボール遊びなどを通じて体を動かす楽しさを知ってもらえる環境づくりをお願いしたい」と話しました。

西宮市政報告

かんの新聞

第45号

年4回発行

ジャーナリストの視点で調べる・伝える



元産経新聞記者 保守系無所属

市とJR西日本、大和ハウス工業が協議会を組織
森永乳業近畿工場跡地などを開発
市はJR西日本と大和ハウス工業の3者で津門飯田町周辺の工場跡地など約12ヘクタールに関するまちづくり協議会を組織しました。大和ハウスが所有する、この土地はJR東海道本線に面することから、協議会ではJR新駅の設置も検討することになっています。
大和ハウスは森永乳業近畿工場跡地やニッカウエスキー西宮工場跡地、アサヒビール西宮東配センター跡地を取得し、総面積は約12ヘクタール。JRをはじめ、国道2号に面し、阪急西宮北口駅から南東約900メートルに位置します。
協議会は「阪神間に残された貴重な一等地における土地利用の大転換」と位置づけ、「グリーンを軸に、人・暮らし・活動が重層する都市空間へ」をまちづくりの基本方針として設定。住宅や商業、業務、文化、教育などを例示し、さまざまな機能を取り入れることを想定しています。
協議会は今後、土地利用や基盤整備に関する具体化などを検討。この周辺に歩行者



や自転車安全にJR東海道本線を横断して南北に移動できる環境を整っていないことから、JR横断通路の設置を検討。この土地はJR西宮駅と甲子園口駅との区間約2.5キロのほぼ中間の東海道本線に面していることから、JR新駅の設置の検討も進めます。そのうえで、令和9年度以降に関係事業者間でまちづくり基本協定を結び、開発事業の計画・実施などに入る方針。

お待ちしております!!

定期送付のご案内

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材しうえ、わかりやすく説明します。

地元の集まりや趣味の会合などで市政の現状について聴きたい場合もご連絡ください。かんのが出向いて市政報告をします。



西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想もお書きいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先 〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101 メールでのお申し込みは本紙最下段に記載の宛先まで

言葉の解説

民間提案制度とは何?

民間事業者等のアイデアやノウハウを活用して、自治体の経営改善や地域課題の解決につなげる取り組みで、本市が導入を決めました。明石市や富山市などで導入済み。これまでの行政主導の事業企画・発注と異なり、企画段階から民間事業者等に関わってもらうことで民間の柔軟な発想やリソースを使った魅力的なサービスの提供や事業の効率化が期待できるとしています。令和8年度の重点募集テーマは「市のコスト節減や財源の創出等につながるもの」。8月中旬に募集要項の公表、申請の受付開始を予定しています。



本名:菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。昭和60年に産経新聞社に入社。平成27年1月に退社し、同年4月の市議選に初当選。令和5年4月の市議選で3選。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会会長。社会福祉法人真砂ちどり保育園理事長。NPO法人海浜の自然環境を守る会副理事長。防災士。保育士。

次号は令和8年11月の発行予定です

かんの雅一 事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

TEL:090-1895-1488

《MAIL》info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ www.kannomasakazu.com

かんの雅一

検索

水口栄二さんインタビュー 主な二問二答

子供たちと同じ目線で指導

礼儀やあいさつも大切

◆阪神タイガースが支援

―地域クラブを開設するきっかけは。―
「西宮市の部活動の地域展開でバスケットボールやバレーボールに比べて野球の地域クラブの数が少ないとの話を聞いた。私は野球教室『野球心』などで子供たちに野球を教えているので、軟式野球の地域クラブを開設して、お役に立てればと考えた」
―水口さんが二軍打撃コーチを務めた阪神タイガースの支援を受けることになっていますが。―

「阪神タイガースは野球の競技人口が減少している現状に危機感をもっており、地元西宮市で部活動の地域展開に貢献したいという方針だ。その一環として、私の地域クラブを支援してくれる。用具の提供をはじめとする経済的支援をはじめ、阪神タイガースが運営し、球団OBが指導を行う子供向け野球スクール『タイガースアカデミー』から指導者を派遣してくれる予定だ」

◆子供たちの個性を尊重―指導方針は。―

「子供たちと同じ目線で話をしたい。私たち指導者は選手の鏡だと思っている。選手は自分のプレーを直接、見られないから、選手の方から『打撃フォームはどうなっていますか』『さっきのプレーは』などと質問

してほしい。こちらから『これをやれ』と一方的に押し付けても、子供は上達しない」
―個性は大切ですか。―
「個性的であることは大歓迎だ。打撃でも投球でもフォームを矯正するようなことはしない。子供は骨格も身長も考え方も違う。だから、自分の個性を大切にしていればいい。ただ、変な癖だけは直さなければいけない」

◆プロで培った技術を子供に―上達する子供の条件は。―

「真面目な子が一番、伸びる。監督やコーチのアドバイスを自分でよく考え、自発的に質問する子がうまくなる。礼儀やあいさつ、キビキビした動作も大切だ」
―子供たちに野球を教えるきっかけは。―

「プロ野球の世界に入った時に、すごい選手ばかりでショックを受けた。打撃を強化するため、フォームに



■水口栄二さん(左)とかんの西宮市議会総務課長との面接

関して気づいたことを全て、ノートにメモし始めた。関節の動かし方まで詳しく書いた。ノートは17年間のプロ生活で膨大な量になった。引退後、この技術を子供たちに伝えたら、上達に役立てると考え、野球教室『野球心』を始めた」

部活動の地域展開とは

市は9月から市立中学校部活動の地域展開を始めます。これに伴って中学校部活動は原則として8月で終了します。少子化が進む中で、学校単位での部活動の維持が難しくなっている現状を踏まえ、多世代にわたって多種目のスポーツ・文化活動ができる環境を地域で整えるのが目的。教員の働き方改革の一環でもあります。地域クラブの登録状況は5月31日現在でスポーツが237活動、文化芸術が99活動。

スポーツチームとの協定について

市は令和7年7月、市と縁のあるスポーツのトップチームである阪神タイガース、楽天ヴィッセル神戸、大阪マーヴェラス、神戸ストークスの4団体のそれぞれと部活動地域展開に関する連携と協力に関する協定を締結しました。阪神タイガースは協定の一環として水口栄二さんの地域クラブを支援します。

周辺を含め一体整備 西宮砲台

近くの県有地などを取得へ

市は西波止町の御前浜公園にある



西宮砲台Ⅱ写真Ⅱ
について近くの県有地などを取得して周辺を含めた一体的な整備をする方針を決めました。

西宮砲台は江戸末期に幕府が外国からの脅威に備えるため、軍艦奉行並の勝海舟の建議を受けて建造した砲台。大砲を据える石堡塔(高さ12・2メートル)と周囲の土塁(外郭)が現存していることは珍しく、大正11年に国の史跡に指定。市が管理しています。

土塁などに囲まれた史跡全体の面積は約5700平方メートルと広く、一部は防潮堤北側の県有地などにかかっています。市は今後、これらの土地を取得して市民が訪れやすく、親しみやすい史跡とするための環境を整えるとしています。

巽公園を再整備へ 遊具の更新など

市は巽公園(今津巽町、3659平方メートル)を再整備することになりました。公園全体のレイアウトは変更せず、地域団体等へのアンケート調査による意見聴取を実施し、老朽化した遊具の更新や巨木化した樹木の間引きなどを行う予定。令和9年夏ごろに着工し、9年度中に完了させる方針。

泉敏夫さん死去―甲子園浜保護の功労者― 浜甲子園町会会長を長く務める 101歳 打ち上げ花火や水上バイクの規制に尽力

45

かんの
コラム



■生前の泉敏夫さん

浜甲子園町会会長を長く務め、甲子園浜の環境保護などに尽力した泉敏夫(いずみ・としお)さんが6月9日、死去しました。101歳でした。

泉さんは生前、私に「甲子園浜の干潟にはシギやチドリなど多くの渡り鳥が飛来し、カニや貝なども数多く生息しており、子供たちが自然を学ぶ絶好の場所です。この素晴らしい環境を次の世代のために残したい」と話していました。

泉さんは大正13年に生まれ、昭和21年に浜甲子園に移り住みました。昭和51年に町会長に就任し、42年間、町会長を務めました。大学でフランス語やフランス文学を教えながら、浜甲子園健康幼稚園の理事長を務め、福祉活動にも熱心に取り組むなど多方面にわたって地域社会に貢献しました。

甲子園浜をめぐるのは、地域住民ら2004人が兵庫県の埋め立て計画に反対し、県を相手取って計画の取り消しなどを求める訴訟を起こした歴史があります。昭和57年、県との和解が成立。県が海岸・干潟を保全し、埋め立て事業については面積を大幅に減らして沖合で行うことになりました。

泉さんはこの活動を個人としても町会長としても強く支援。和解後は住民代表として県などと協議する甲子園地区埋立事業対策協議会会長を務めました。

甲子園浜などでは、昭和50年代末ごろから、打ち上げ花火などが急増。住民から「深夜まで騒音がやまず、眠れない」「多くの人の騒ぎ声が響く」「花火の燃えカスが自宅の敷地に落ちており、火事が心配」などの声が寄せられました。

このため、泉さんら浜甲子園町会のメンバーは夜間パトロールを行うとともに、海岸部の迷惑花火の全面禁止を求める活動を展開。この活動が実を結び、「快適な市民生活の確保に関する条例」が改正され、平成30年7月から海浜では、甲子園浜と御前浜、香櫨園浜の3区域が打ち上げ花火の禁止区域に指定されました。

泉さんらは水上バイクが甲子園浜に乗り入れたり、沖合を走ったりして騒音をまき散らし、浜で遊ぶ子供たちやウインドサーファーの安全を脅かしていることを深刻に受け止めて、規制の強化を求める活動も進めました。この成果もあり、甲子園浜海浜公園への水上バイクの持ち込みや砂浜への乗り入れが禁止されました。

泉さんと長く活動を共にしてきた南甲子園自治会の元会長、高松眞一さんは「地域住民のため、特に、障がいのある方、高齢者、子供たちに寄り添った福祉活動に尽力された。教育者として誠実でやさしく、誰からも慕われる人柄だった」と話しました。

人工島の甲子園浜 市がサウンディング調査へ

総合公園の整備で民間活力の導入を検討

市は人工島の甲子園浜でスポーツやレクリエーションの機能を備えた総合公園を整備する方針を決めました。公園整備に関する民間活力導入の検討に向けて令和9年度から民間事業者に対するサウンディング調査を実施するとしています。



調査とは、事業の企画段階などで事

業内容や事業スキームなどに関して、民間事業者の意見や事業提案などを直接の対話によって把握する手法。
総合公園を整備するのは現在、営業中のゴルフ練習場「アコーディア・ガーデン甲子園浜」の敷地約5・6ヘクタールと隣接する甲子園浜下水浄化センターの緑地部分約1ヘクタールの計約6・6ヘクタール。

ゴルフ練習場の敷地は市が昭和60年、下水処理施設の用地として市の外郭団体である西宮市土地開発

公社に兵庫県企業庁から購入させた約13ヘクタールの一部。その後、市の下水処理計画が変更になったため、不要になりました。

市はこの土地について本格的な利用方法を決めるまでの間の暫定的な活用方法を検討。公社は平成21年、ゴルフ練習場の用地として練習場の経営会社と年間約1億円の賃料で賃貸借契約を結びました。

市が総合公園を整備するために、公社からゴルフ練習場の敷地を購入する費用約55億円をはじめ、多額の公園整備費や維持管理費が必要で

す。市は公園整備の財源として国の交付金を見込むとともに、市債の発行で財政負担の軽減と平準化に努める方針。これに加え、民間活力の導入で費用の縮減を図りたいとしています。

公社とゴルフ練習場の経営会社との賃貸借契約はこれまで2回、延長し、令和9年12月に満了となります。市は民間事業者へのサウンディング調査等によって総合公園の整備方針や整備時期について検討するとともに、公園整備着手までの期間を活用した賃貸借契約の再延長についても協議するとしています。